

# 令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案に関する

## 各会派の意見表明

### [自由民主党]

自由民主党神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計決算、及び関連議案合計24件を下記理由及び要望20件を付して、認定並びに承認致します。

#### 理由

令和4年度決算は、社会保障関係費や投資的経費などが増加した一方で、所得の増加などに伴う個人・法人市民税の増や「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを進めたことなどにより、11億2,700万円の黒字を確保したこと、また平成23年度決算から12年連続で実質収支の黒字を確保したことは評価致します。

今後は、超高齢社会の進展に伴い、経済規模の縮小や市税収入の減少が懸念され、社会保障関係費のさらなる増加や、経済社会情勢に伴う原油価格・物価高騰、さらにはポスト・コロナ時代を見据えた政策に係る財源確保など、注視を続ける必要があります。

しかしながらこのような状況下でも、まちの魅力を高め、教育の充実、切れ目のない子育て支援や移住定住を図り、三宮や王子公園の再整備、インバウンドを含めた観光施策と賑わいのある都心・ウォーターフロントの魅力創造、市内事業者・スタートアップ支援による雇用の創出、神戸空港における2025年の国際チャーター便の運用開始と国内線発着枠の拡大、2030年前後の国際定期便運航の合意など、新たなステージへと歩みを進める中、まちの活性化と人口減少対策に取り組む必要があります。

引き続き「行財政改革方針2025」の達成に向けて着実に取り組み、安定的な財政基盤を構築していくとともに、神戸経済の成長や需要の拡大に向け、様々な行政施策を積極的に実施していくことを期待して決算を認定致します。

#### 要望事項

1. 今後の観光施策のための投資財源を確保するため、神戸空港国際化も見据え、宿泊税を含めた観光財源の確保を早期に行うこと。
2. 市内経済の活性化および雇用創出のために、神戸市が行う委託事業については、市内への発注を更に進めること。また、外郭団体についても市内発注ルールを定めること。
3. 上海事務所は、職員への安全配慮義務や業界の評価、経理の不祥事等をふまえて撤退も視野に判断すること。

4. 震災復興のために借り入れた県の融資が大きな負担となるなどの小売市場の経営課題を把握し、適切な支援を行えるよう県と連携し取り組むこと。
5. 神戸の街で住み働くことを選んでもらうため、テレワーク推進や時間休暇制度など多様な働き方を推進する事業者への国からの各種支援について、神戸市としても積極的に支援拡充しPRをすること。
6. 農業公園の将来的な利用については、ワイン城のあり方も含め速やかに方針を示すこと。
7. 神戸港の基幹航路維持・拡大のために、引き続き国に対して集貨インセンティブに対する補助の再開を要望すること。また、市としても集貨・創貨・競争力強化の施策の推進に努めること。
8. 神戸空港において、現ターミナル、海上アクセス、新ターミナルを結ぶ歩行者デッキの整備にあたっては、ムービングウォークの導入を含めて利便性の高い歩行者空間となるよう整備すること。
9. 空き家特措法の改正施行に合わせ、管理不全空き家や草木が繁茂した周囲に迷惑な空き家への指導、勧告、代執行が速やかに且つ広く行えるよう制度を早急に検討すること。
10. 神戸文化ホールの移設後の跡地および老朽化した中央図書館や体育館については、武道館を含めた総合多用途アリーナへの再整備等の検討に着手すること。
11. 公園トイレチェンジアクションは、築年数のみではなく、利用特性や状況も加味してスピーディに行うこと。
12. 大型ゴミのリユースについては、連携先事業者と継続的に協議し、リユースの成約実績や市内事業者の取り扱い実績を把握するとともに、大型ゴミのリユースが増加するよう検討すること。
13. 神戸市の行政各部局移転時の50万円未満の不用品処分を促進するために、環境局が区ごとのリユース事業者を一覧にすること。
14. 小児科・産婦人科の確保、充実を図ること。
15. 子育て世帯を応援すべく、家事育児の支援として3歳頃までの家事育児サービスの助成拡大と、子育て家庭の見守りを兼ねた生活応援定期便の新設を神戸の子育て支援の目玉として早期に進めること。
16. 学童保育において、保育所と同様に、祖父母の同居があっても申し込みができるように制度を変更すること。また、すこやか保育において、学童と同様に、保護者の申請なく加配認定ができるよう制度を変更すること。
17. 安心安全で美味しい地産地消給食に向け、来年度予算においても兵庫県産の魚を主なおかずに使った給食提供を行うこと。
18. 国際都市神戸の強みを活かして、海外の姉妹都市校と連携したオンライン授業の展開を市長部局と連携し定期的に行うこと。
19. 語学の検定料の補助等により、じぶん学習を後押しすること。

20. 避難所対応を含めて、危機管理方針の策定にあたっては、女性の参画を必須とすること。

## 【日本維新の会】

日本維新の会神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案について、以下の理由により、要望18件を付して認定・承認します。

### 理由

令和4年度、神戸市は新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎ、医療供給体制の安定と市民生活・経済の回復に取り組みました。新型コロナは5類感染症に移行されましたが、原油価格・物価高騰など市民生活への負担増や、超高齢化社会の進展による社会保障費の増加などこれまで以上に社会情勢は厳しさを増しています。

新たな時代を切り開くためにも、従来の手法や発想に捉われず、産官学の連携を強化しながら、持続可能な神戸経済の成長・市民生活の向上に寄与する行財政改革を強く推し進めることを期待し、令和4年度神戸市各会計決算を認定し関連議案について承認します。

### 要望事項

1. ICT活用やDXの推進による業務の効率化、行政サービスの向上に取り組むと共に、深刻化・複雑化するサイバーセキュリティ対策を国、民間事業者との連携を強化しながら徹底すること。またサイバー攻撃を想定し策定されたBCPの計画内容を可視化し、周知徹底すること。
2. 超少子高齢化や物価高騰など、変化する行政課題に対し、これまで以上に効果的な政策を展開していくためにも、合理的根拠に基づいて政策を企画するEBPMを今まで以上に活用し、全市的な政策決定過程に反映していくこと。
3. 非常勤の市行政委員報酬は、市民に理解される制度とするため、勤務実態と報酬を改めて見直し、日額制への改定を進めること。
4. 中学校給食全員喫食の導入に際し、新鮮で安全な食材の安定供給の確保と共に、地産地消の目標達成に向けた取り組みを推進すること。また義務教育の給食無償化については、国の動向や法改正を待たず、神戸市が率先して段階的に進めること。
5. 不登校特例校の設置に向けて、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどの関係機関と連携強化の上、個々の不登校児童生徒の状況に応じた支援と学習機会を提供し、社会的自立を促進していくこと。
6. 神戸市の公立大学の無償化の実現に向けて、私立・国立大学の入学者への影響を分析しながら、必要な施策について検討を進めること。
7. 児童虐待について西区での事案の反省を元に、これまでの対策を抜本的に強化し、

徹底した再発防止策を構築すること。併せてリアルタイム情報共有システムの構築を兵庫県と連携の上、推進する他、的確かつ即応性のあるリスク判断を可能にする先端技術の導入を検討すること。

8. 子どもたちの性被害を未然に防止すべく、未就学児童、小・中学校生徒への性教育の充実を図ること。また厚生労働省の「児童相談所における性的虐待対応ガイドライン」に基づき、本市においても性被害の実態調査及びデータ分析を強化すること。
9. 産後の心身の回復や育児不安を解消するためにも、妊娠から出産、育児に関する包括的な支援の充実を図ると共に、全ての妊産婦に適切な情報が届くようにプッシュ型の広報活動や配信を強化すること。
10. 神戸空港の国際化に向け、新設のサブターミナルだけではなく、現行のターミナルの魅力向上とともに、神戸経済の成長に向けた取り組みを関西エアポート神戸（神戸空港）に対し、強く働きかけていくこと。
11. 大阪・関西万博、夢洲 I R を控える本市として、西日本・九州ゴールデンアライアンスが設立されたことによる新たなゴールデンルートを活用した神戸の魅力発信・プロモーションに積極的に取り組んでいくこと。
12. 京阪神の大学・企業・行政が連携するスタートアップ支援の相乗効果を生み出しつつ、神戸市の強みや地域特性を活かしたイノベーションの創出により積極的に取り組んでいくこと。
13. 農業の高齢化・後継者不足が深刻な問題の解決に向け、新たな担い手を育成するネクストファーマー制度のプログラムの充実や、よりきめ細やかな支援制度に取り組むこと。また、先端技術を駆使したスマート農業のより積極的な導入・普及を図ること。
14. 受動喫煙防止と景観保全のため、市内全域を路上喫煙禁止地区に指定すること。迷惑喫煙対策を効果的に実施するため、補助金制度の設立と共に、周辺に配慮した喫煙所の増設を民間事業者と協働しながら推進すること。また世界禁煙デーに合わせて他都市でも実施している「イエローグリーン運動」の実施を検討すること。
15. 男女平等、障害者雇用など多様な人材が活躍できる環境整備、ワークライフバランスの促進など、包括的な社会参画と働き方改革に取り組むこと。
16. 障害者の親なき後の権利擁護支援については、親が元気なうちに積極的に指定するよう福祉・介護成年後見人制度の周知・啓発に取り組み、利用促進を図ること。
17. 交通局・市バス営業所における職場環境及び組織風土改善とガバナンス強化に鋭意取り組むこと。また高速鉄道事業、自動車事業共に一般会計からの補助金に頼らない自立した経営を行うため、不転の決意を持って長期的な視野に立った経営健全化を推し進めること。
18. 市役所本庁舎 2 号館の再整備については、市民交流を促進し新たなにぎわいの創出を生み出していくために、周辺の商業施設や東遊園地などと連携し、民間のノウハウを活かした多様な主体による活動が展開されるようハード、運営の両面から機能充実を検討すること。

## **[公明党]**

公明党神戸市議員団は、令和4年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算に対し、下記の理由と要望8件を付し認定します。なお、関連議案については承認します。

### **理由**

令和4年度決算は、個人・法人市民税の増、行財政改革を着実に進めた結果、昨年に引き続き財源対策によることなく一般会計は実質収支11億2,700万円の黒字を計上し、企業会計においても、単年度損益合計が昨年度から61億円のプラスとなる91億円の黒字となったことは当局の努力を評価します。また、公明党の要望に応えた新型コロナウイルス感染症対策やコロナ禍に苦しむ市民に対しての取り組みについても評価します。

しかし今後も、社会保障関係費のさらなる増加や人口減少が財政に影響しつつある状況に加え、国際情勢による物価高騰、ポストコロナ時代への施策転換に係る財源確保など、財政状況はより一層厳しくなることが予測されています。

その中で財源確保に努め、引き続き市民福祉向上を着実に進めるとともに、将来にわたり持続的な発展を遂げるために、まちの魅力と活力を高める施策を積極的に展開していくことに期待し、以下要望事項を添えて令和4年度決算を認定するとともに関連議案を承認します。

### **要望事項**

1. インバウンド誘客については、スポーツ庁が策定した「スポーツツーリズム需要拡大戦略」の重点テーマとして設定した「武道ツーリズム」および「アウトドアスポーツツーリズム」など、体験型ツーリズムを推進すること。
2. 本市の精神障がい者に対する重度障がい者医療の助成は、精神障害者保健福祉手帳1級のみが対象であるが、精神障がい者の生活実態を鑑み支援するという観点から、2級まで対象を拡大すること。
3. 昨年4月から一部の不妊治療が保険適用の対象となったが、特定不妊治療とあわせて治療されることが多い先進医療については県にも強く働きかけ助成を行うこと。
4. ふるさと納税を活用し、こうべ動物共生センターを動物とふれあう場づくりや展示物の閲覧などが出来る動物愛護の拠点としてさらに魅力ある施設とするなど、動物愛護施策の拡充に努めること。
5. 学童保育の過密化の解消とともに学校内で学童保育を行えるよう取り組むこと。
6. 公共プールのない地域において学校プールの地域開放を再開すること。
7. スクールサポートスタッフを有効に活用し、教頭・教員の人材育成に努めること。
8. 特別支援学校給食では誤嚥防止のため、希望者にはスベラカーゼの使用を実施すること。

## 【日本共産党】

令和4年度神戸市各会計決算のうち、決算第1号、決算第2号、決算第4号、決算第7号から決算第11号、決算第13号から決算第18号の合計14議案に関しては認定できません。また、決算関連議案のうち、第42号議案と第43号議案の2議案については承認できません。決算第3号、決算第5号、決算第6号、決算第12号、決算第19号の合計5議案については認定致します。また、決算関連議案のうち、第41号議案、第44号議案、第45号議案の3議案については承認致します。

自民党政治のもとで30年もの長期にわたる経済停滞と暮らしの困難が続いているところへ物価の高騰が襲いかかっています。市民の深刻な生活状態のもと、実質賃金の引き上げと社会保障の充実が求められていますが、神戸市の施策は抜本的な打開策とは程遠いものとなっています。以下、反対の理由を述べます。

### 理由

第1の理由は、神戸市民の賃金引き上げ、市職員の処遇の改善に背を向けているからです。

「神戸市行財政改革方針2025」に沿って、市職員を750人も削減しようとしています。正規職員を削減し、会計年度任用職員など非正規雇用置き換え、業務の民間委託を進めています。保育士をはじめとしたケア労働者への給与が改善されていません。教員不足・未配置が深刻な状況にあるにもかかわらず、処遇の改善策は全くありません。

第2の理由は、住民福祉の向上という自治体本来の役割を投げ捨て、社会保障や子育て支援に逆行する策を次々に打ち出し、市民負担をより一層強めようとしているからです。

給食費、学費・子どもの医療費の無料化に背を向けています。暮らしが大変なもと、後期高齢者医療に続き、介護保険料と国民健康保険料の徴収を強化しています。水道・バス・給食費の値上げの検討も止めようとしていません。困窮する市民の生活実態に寄り添う姿勢がありません。

第3の理由は、公共施設を統廃合し、公的責任を後退させているからです。公園を切り売って大学を誘致することなどを盛り込んだ「王子公園再整備基本計画(素案)」は、公園の魅力を奪い、動物園の充実を求める市民の願いとは全くかけ離れた計画になっています。小・中学校、公立幼稚園・保育所の統廃合によって子どもが学び成長する環境が破壊されてしまいます。市営住宅をさらに約7,000戸も削減する計画は、住宅に困窮する市民への責務を投げ捨てるものです。長田区・兵庫区でバス路線を再編し、現在よりも約100便も減らすことは、市民の足を奪うことになります。

第4の理由は、市民の願いよりも、国言いなりの投機的な大型開発によって人口減少を加速させているからです。

都心・三宮再整備、ウォーターフロント、市内各駅前の大型開発、大阪湾岸道路、戦略港湾、さらに、「国際化」を口実に神戸空港への投資を再加速させています。これら

の事業に市民の大切な税金が湯水のように投入されます。大型開発・呼び込みを強化しても人口減少を抑制するどころか助長していることになり容認できません。

第5の理由は、気候危機打開、エネルギー施策、食料自給率向上打開に相反する施策を継続し、ジェンダー平等の実現にも積極的に取り組む姿勢が極めて弱いからです。CO<sub>2</sub>を大量に排出する神鋼石炭火力発電を延命し、褐炭由来の水素の輸入を促進する水素エネルギーの利用を促進することは、低炭素社会の実現とは真っ向から矛盾するものです。日本の農業の危機が急速に進む中で、市内における農家を手厚く保護し、食料自給率の向上を図る姿勢が全く見当たりません。また、働く女性の賃金差別の是正策が極めて弱すぎます。同性パートナーシップ制度については12月から実現する予定ですが、婚姻と同等のサービスを受けられるようにするなど当事者の人達が心から歓迎される制度にすることを強く求めます。

## **【こうべ未来】**

こうべ未来市会議員団は、令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案合計24件を以下11件の要望を付して認定・承認します。

### **理由**

令和4年度の一般会計決算は、社会保障関係経費や投資的経費が増加した一方、「行財政改革方針2025」に基づく取組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、11億2,700万円の黒字を確保したこと、また、新型コロナウイルスが完全に収束しない中にありながら、ほぼ予算通りに事務事業が達成できたことは評価します。

一方で厳しい経営環境が続いている自動車事業会計並びに水道事業会計においては、更なる経営改善に取り組む、将来的にも事業を維持存続されたいことを申し添えておきます。

今後は、神戸市が抱えている様々な課題を克服しながら、持続性のあるまちこうべに向けての取組みに期待します。

### **要望事項**

1. 総領事館、名誉総領事館と積極的な交流を図られたい。
2. 都市政策研究室の強化と情報発信を図られたい。
3. 「まちなかアート事業」については、まちの賑わいに大きく寄与することから、工夫をこらしながら継続されたい。
4. お気軽健康チェック事業の更なる展開として、若い層にも積極的に健康状態を把握できる新たな機会を創出されたい。
5. 子どもの意見を施策へ反映できるよう具体策を講じられたい。
6. 4年ぶりに開催される神戸ルミナリエについては、周遊型の強みを活かし、近隣の

- 飲食店等へ経済効果が波及する仕組みを構築されたい。
7. 本市初のインクルーシブ公園を開設されたい。
  8. 垂水駅前再開発周辺道路については、銀座通りの北行き一方通行を基本に、安全第一で進められたい。
  9. 適切な管理が行われていない空き家・空き地対策については、初動体制の強化に努められたい。
  10. カーボンニュートラルポートの形成にむけて、水素利活用並びにブルーカーボンの取り組みを深化されたい。
  11. 小学生の不登校の現状について精査し、校内サポートルームの拡充と人的配置をされたい。

## **【つなぐ】**

つなぐ神戸市議員団は、令和4年度各会計決算および関連議案のうち、決算第1号、決算第4号、決算第18号、以上3件の決算については、後ほど述べる理由により認定できません。

また、その他16件の決算については、おおむね適切に執行されているため認定し、さらに第41号議案から第45号議案の5議案については、承認します。

認定に反対する主な理由は次の通りです。

### **理由**

1. 多くの疑問や反対の市民意見がある中、公園という市民の共有財産の一部を、大学誘致のために民間へ売り渡すという王子公園再整備基本方針の策定を進めたため。
2. 区役所窓口民間委託問題で、先行実施した北神区役所、兵庫区役所において市民課や保険年金医療課業務委託で多くの課題が明らかになっている中、さらに全区に広げようとしているため。また、水道料金関係業務の民間委託や集約などで職員への負担増や市民サービスの低下を招いたため。
3. 国民健康保険事業において、一般会計からの法定外繰入を全く行わず、社会保険との格差を是正して払いやすい保険料にしようとしなかったため。

## **【無所属（平野（章）委員）】**

令和4年度神戸市各会計決算19件及び関連議案5件については、いずれもおおむね適正と認め、認定及び承認いたします。



## 〔無所属（松本（し）委員）〕

令和4年度神戸市各会計決算19件については、下記の理由及び要望6件を付して認定いたします。なお、関連議案5件については承認いたします。

### 理由

令和4年度の本市の一般会計決算は、社会保障関係経費や投資的経費が増加する中で、個人・法人市民税の増や、「行財政改革方針2025」を着実に進めたことなどから、実質収支11億2700万円の黒字を確保し、企業会計決算においては、新都市整備事業会計での駐車場土地売却等91億円の黒字となりました。

一方で、不安定な国際情勢の中、原油価格・物価高騰など先行き不透明な時代となり、ゲリラ豪雨や台風などの自然災害も想定され、今後も予断を許さない状況であり、本市を取り巻く財政状況は一層厳しくなると予測されます。今後とも人口減少・少子超高齢化社会でのグローバルな都市間競争に対応できる都市として、着実な業務改革やDXの推進等に期待し、決算については、認定し関連議案については承認します。

### 要望事項

1. 令和6年度に再開される「須磨海づり公園」については、須磨海岸エリアの魅力的な施設として利活用する為、JR須磨駅からの遊歩道を延伸し、海洋スポーツエリアとして整備されたい。
2. 須磨区白川出入口及び東白川台交差点においては、神戸三木線と近接しており、大型車も多く、振動と渋滞に周辺住民は悩まされている現状に鑑み、時差式信号機や点滅信号の設置など関係機関とともに早急に改善策を図られたい。
3. 神戸市中央卸売市場の再整備に於ける西側敷地の冷蔵庫移転については、グローバル時代での市場間競争に対応するため、今後も運営事業者への負担軽減に関する協議を図り、一層努力されたい。
4. 介護人材の不足は深刻であり、外国人人材の活用は不可欠な現状であることから、独自に外国人介護人材を雇用している市内事業所への住宅支援策を一層拡充されたい。
5. 介護老人保健施設等に於ける申請書類や届け出書類やアンケート等が多く、事業者の介護士不足に悩まされる現状を踏まえ、質の高い介護をするため事務負担の軽減を一層図られたい。
6. 消防団員は地域防災力の要であり、減少する消防団員の入団促進となる学生消防団活動認証制度の活用を推進するため、大学や地域企業に積極的にPRされたい。

## [無所属（上原委員）]

令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案合計24件を下記の理由及び要望12件を付して、認定並びに承認いたします。

### 理由

令和4年度決算は、個人・法人市民税の増収、および事務事業見直しによる14億円の削減をはじめ「行財政改革方針2025」に基づく取組みを着実に進めたことから、実質収支11億2,700万円の黒字を確保することができました。ただ全国的に少子高齢化社会が進む中、人口減少数が政令市ワースト1である本市において、さらなる行財政改革を進めるべきであります。各局事業の効果検証を確実に行う事で、事業の取捨選択をスピード感をもって取り組む必要があります。以下要望します。

### 要望事項

1. 行政委員の月額報酬は、実働に合わせた日額制に早期変更すること。その際、時給換算して社会通念上市民理解が得られる報酬にすること。また、委員選任に関しては、公正中立性や専門性を重視し、議員OB枠の妥当性を市民目線に立って見直すこと。変更内容は、広報紙などで市民に周知すること。
2. 市バス事業の収支改善は、さらなる人件費削減に努め、利用者の不便に繋がる減便によらない効率化に努めること。地域の実情に応じた規模の交通手段であるコミュニティ交通への転換を積極的に進めること。また、需要に応じた最終便延長などをデータに基づく客観的観点から、早期実現を講じること。
3. 委託・指定管理・入札等の市内事業者選定を促進し、さらなる経済の市内循環に努めること。また、応募が特定事業者に集中しない様、一層の公募の広報に努めること。
4. 区役所窓口の民間委託において、待ち時間の縮減に努めるとともに、スムーズな対応が出来るよう、派遣スタッフの業務に必要な知識や能力の定着に努めること。
5. 三宮駅周辺での客引き・勧誘行為及びそれに伴う公道に立つ行為も含めて、通行人への迷惑防止と景観の観点から、撲滅に向けて県の条例に則り厳格に取締りをすること。
6. 本市の人口流出超過を喫緊の課題と認識し、特に若年や子育て世帯が定着、転入する施策を充実させ、ターゲットに訴求する有効な広報をすること。
7. 優秀職員表彰は、積極的な個人表彰実施、昇進や勤勉手当への反映の明確化、ホームページや広報紙での広報により、職員のモチベーション向上に繋がる有効な施策にすること。
8. 全庁的に各局事業の効果検証を確実に実施するしくみを確立し、取捨選択により、さらなる行財政改革を推進し、最大限の市民サービス向上を実現すること。
9. 有効な広報を追求し、SNS媒体ごとの効果的な動画投稿にも努めること。

10. 児童虐待による重大な事態を未然に防ぐため、警察との情報リアルタイム共有を早期実施すること。
11. 公共交通機関でラッシュ時の乗り換え等を安全に行うために、谷上駅をはじめ、エレベーターやホーム柵などの整備が早期に実現する様、支援すること。
12. 労務職員の年収を、民間事業者同等に引き下げること。

## **〔無所属（村上委員）〕**

令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項3件を付して認定並びに承認致します。

### **理由**

令和4年度神戸市各会計決算では、個人及び法人市民税の増収や、「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを着実に進めたことなどから、本市の将来に資する投資的経費を増加させながらも、財源対策によることなく実質収支の黒字を確保されたことを評価しております。

### **要望事項**

1. 神戸駅前広場再整備に合わせた歩行者空間の拡大による効果の実証を、三宮クロススクエアに先行して行うことを検討されたい。
2. ハーバーハイウェイのETC化にともなう通行量の増加によって悪化が予想される住吉浜渡り線の渋滞について、神戸港の大動脈であるポートアイランドから六甲アイランドへの港湾事業者等のスムーズな通行を確保するための対策を確実に実行されたい。
3. こべっこランドの駐車場不足対策のために、市立和田岬駅前駐車場の再活用を検討されたい。